

河 川 関 係

■ 高<sup>たか</sup>山<sup>やま</sup>川<sup>がわ</sup>水<sup>みづ</sup>系<sup>けい</sup>高<sup>たか</sup>山<sup>やま</sup>川<sup>がわ</sup>大<sup>だい</sup>規<sup>き</sup>模<sup>も</sup>特<sup>とく</sup>定<sup>てい</sup>河<sup>か</sup>川<sup>がわ</sup>事<sup>じ</sup>業<sup>ぎょう</sup>(<sup>きん</sup>杵<sup>つ</sup>築<sup>ち</sup>市<sup>し</sup>)

高山川水系高山川は、杵築市内の住宅密集地を流下しており、平成9年台風第19号による洪水等で甚大な被害が発生した。このため、大規模特定河川事業により築堤および河道掘削等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

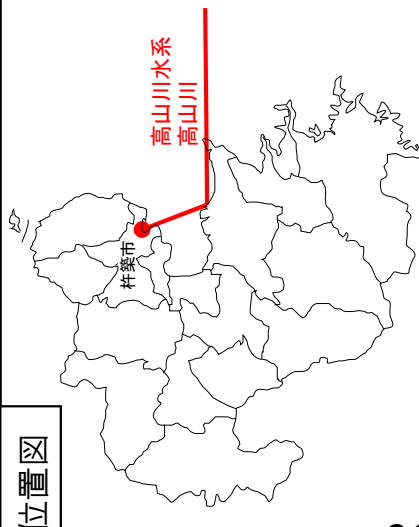


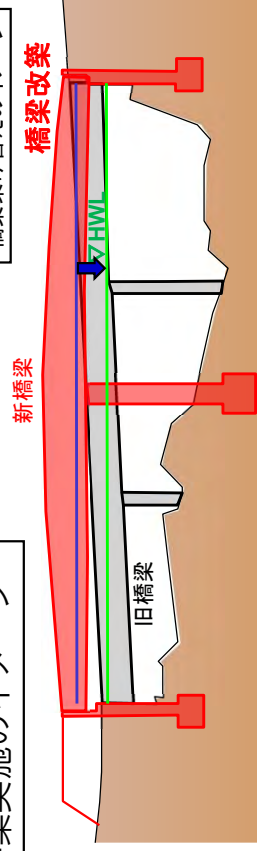
圖 置 位



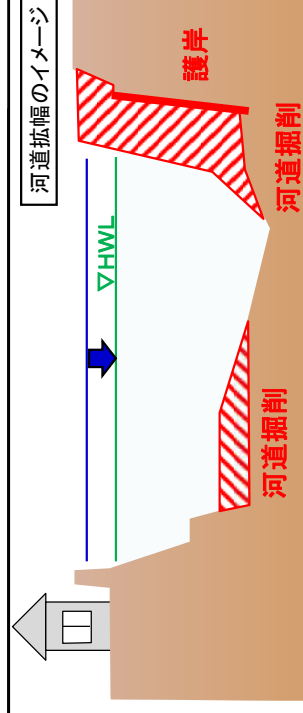
## 要 概 害 被

| 発生年月日    | 浸水戸数                        |
|----------|-----------------------------|
| 平成9年9月   | 床上 32戸 床下 85戸 浸水面積370.0ha   |
| 平成10年10月 | 床上 25戸 床下 45戸 浸水面積350.0ha   |
| 平成16年10月 | 床上 0戸 床下 0戸 浸水面積 1.0ha      |
| 平成17年9月  | 床上 0戸 床下 0戸 浸水面積            |
| 平成26年10月 | 床上 0戸 床下 0戸 浸水面積            |
| 令和3年7月   | 床上 0戸 床下 0戸 浸水面積 浸水面積 0.6ha |

# 事業実施のイメージ



## 橋梁架け替えのイメージ



河道拡幅のイメージ



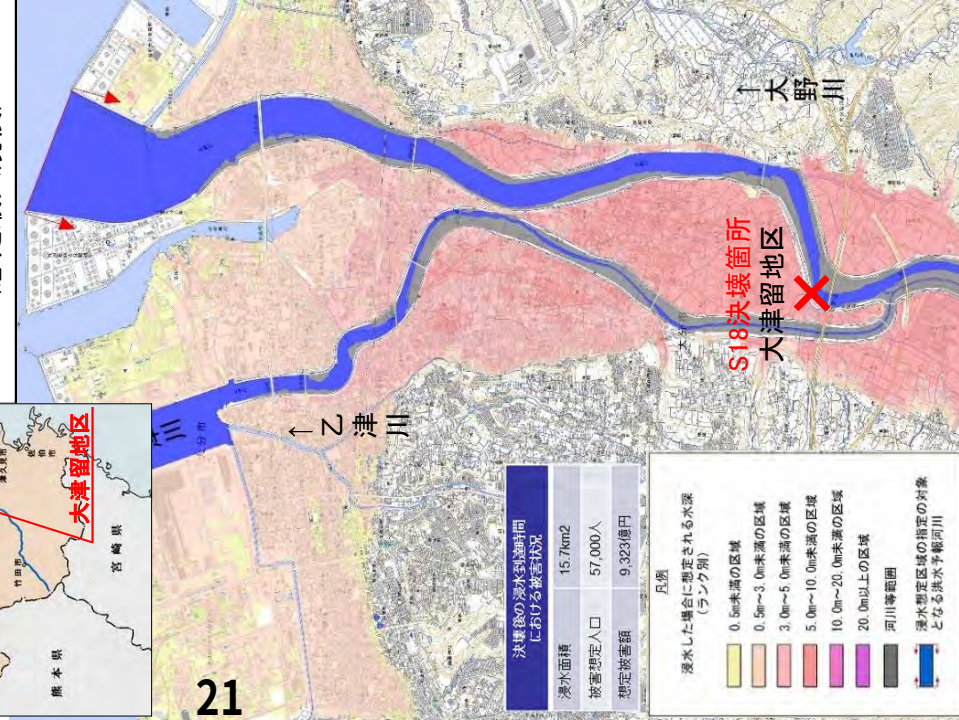
■大野川左岸大津留地区では、昭和18年に堤防決壊が発生。近年においても、平成29年9月台風18号洪水等により、河岸侵食が発生。

■このため、河道掘削、高水敷造成等による河床低下対策を実施することで、治水安全度の向上を図る。

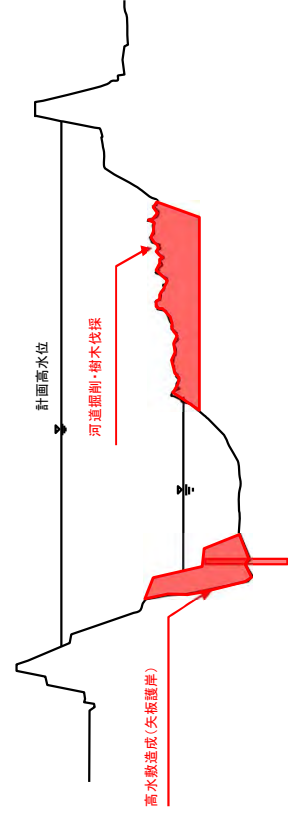


事業費：242百万円

大野川水系浸水想定区域図  
(想定最大規模)



標準断面図





# 竹田水害緊急治水ダム建設事業(玉来ダム)【補助】

継続

河川-22

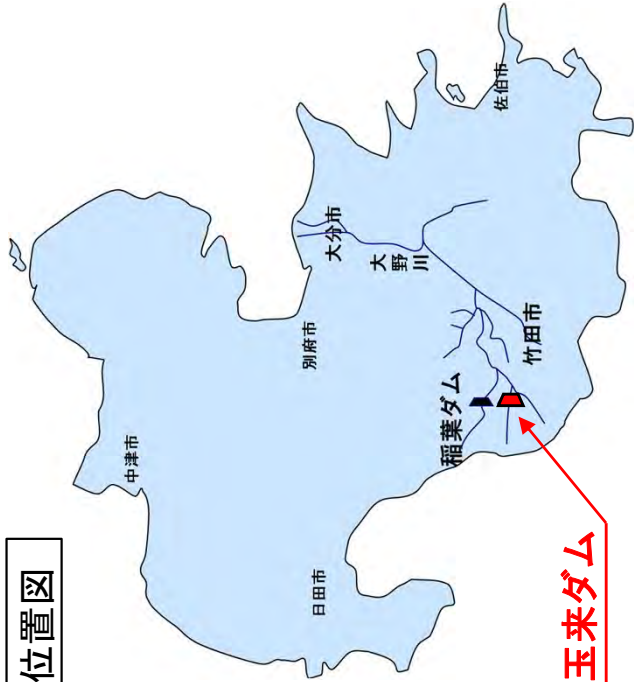
## ■事業概要

- 場所 (右岸)大分県竹田市志土知  
(左岸)大分県竹田市川床(大野川水系玉来川)
- 目的 洪水調節(玉来川の洪水被害軽減)
- 諸元 堤高;約52m 総貯水容量;約4,090千m<sup>3</sup>
- 経緯 平成3年度 建設事業着手
- 事業効果 ダムによる洪水調節を行い、玉来ダム下流域の治水  
安全度の向上を図る。

22

## ◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

### 位置図

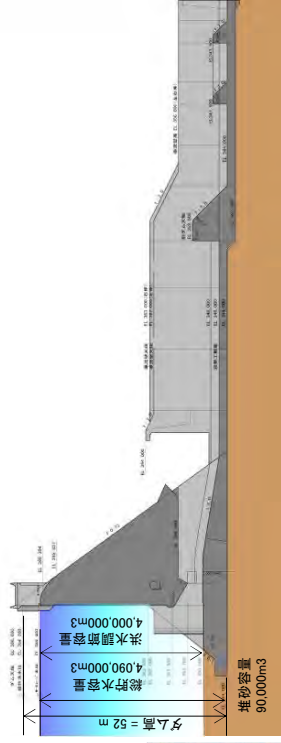


玉来ダム

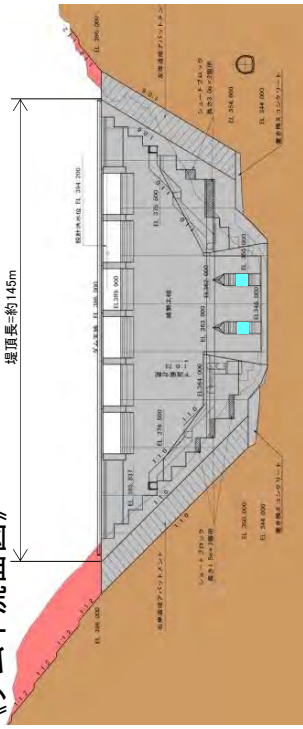
《玉来ダム完成イメージ》



《玉来ダム標準断面図》



《ダム下流面図》



事業費(共同費): 5,310百万円

- 令和3年度  
本体工事、貯水池グラウト工 等

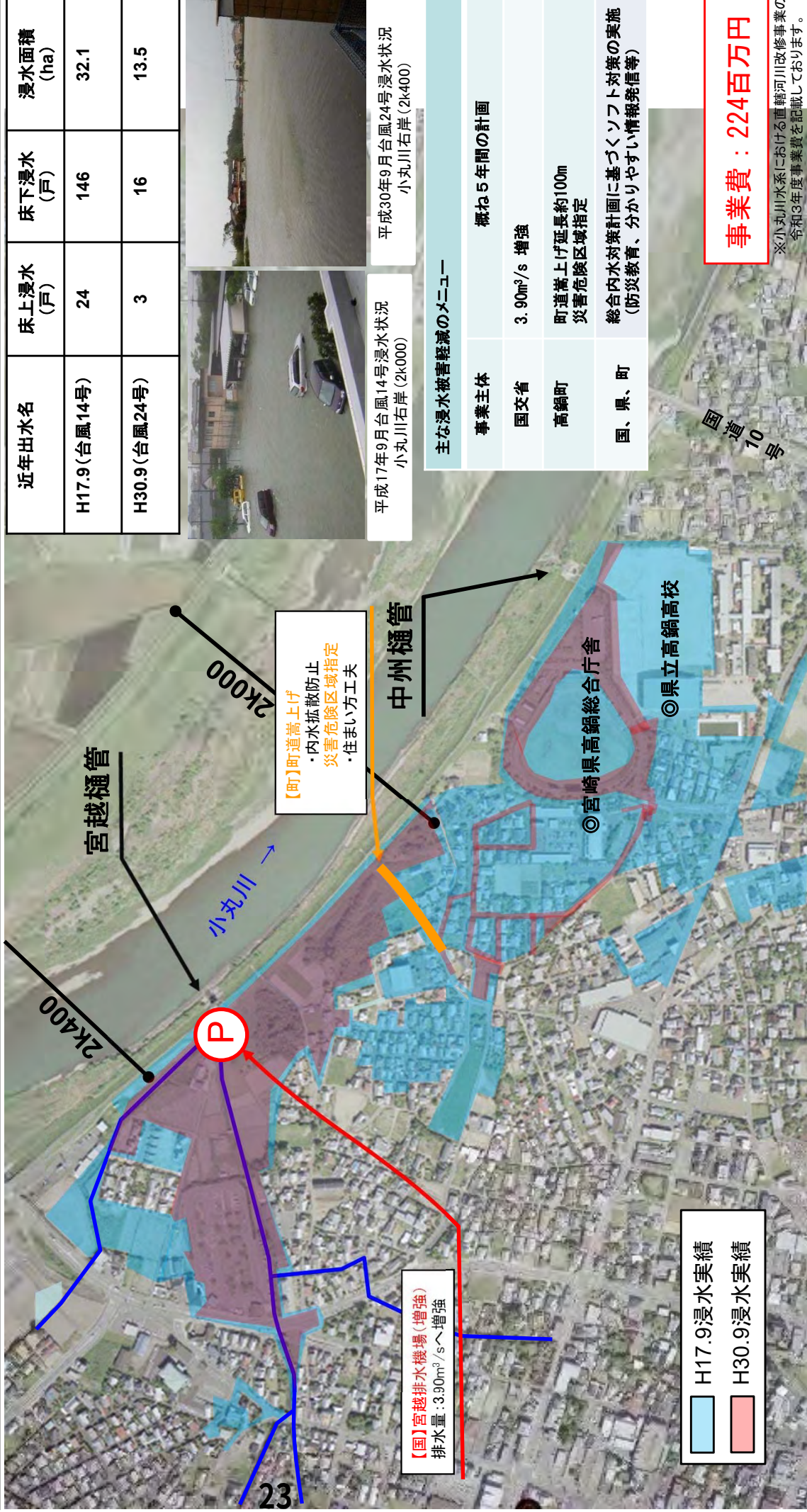
事業箇所 の 状況 (R3.1撮影)





- 小丸川では平成17年9月洪水、平成30年9月洪水において、宮越地区において、床下の浸水被害が発生。国・宮崎県・高鍋町が連携し『小丸川宮越地区総合内水対策計画検討会』を設置。総合的な内水被害の軽減対策として、総合内水対策計画を策定。
- 宮越排水機場の整備を行うことにより、平成17年9月洪水、平成30年9月洪水において、床上浸水被害の軽減を図る。

| 近年出水名        | 床上浸水<br>(戸) | 床下浸水<br>(戸) | 浸水面積<br>(ha) |
|--------------|-------------|-------------|--------------|
| H17.9(台風14号) | 24          | 146         | 32.1         |
| H30.9(台風24号) | 3           | 16          | 13.5         |





-



# 宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業

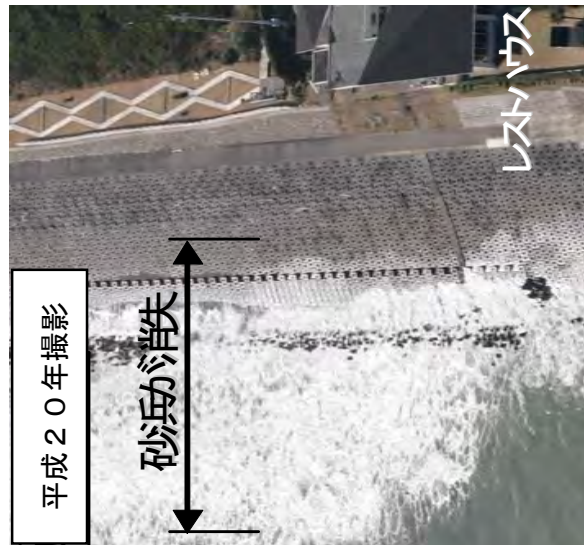
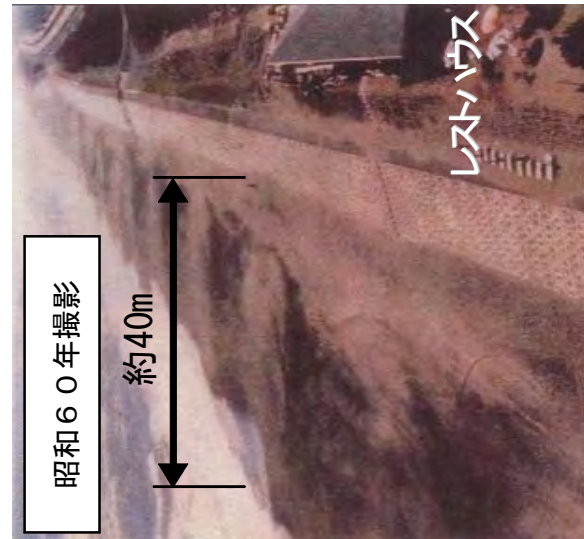
継続

河川－25

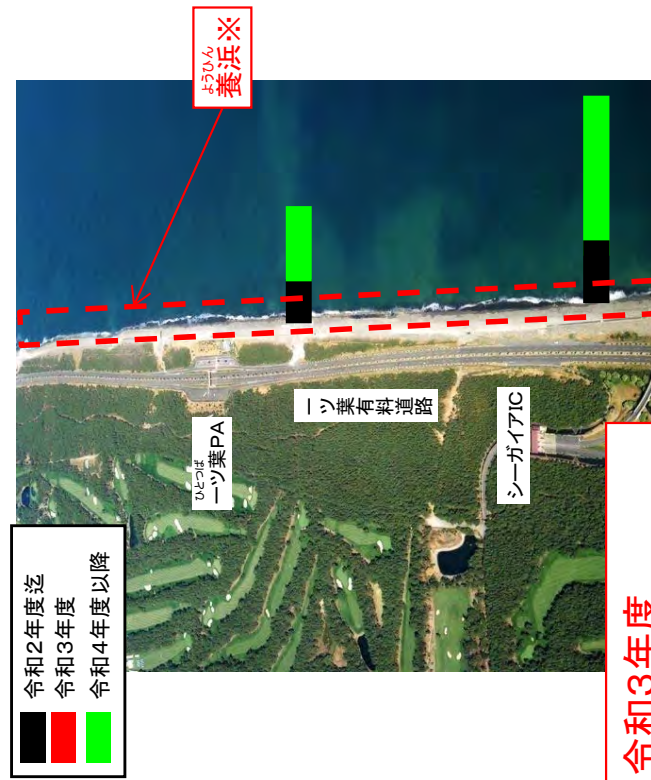
## ■ 宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業（宮崎市）

- 宮崎海岸は約50年間で平均約65m（最大94m）の砂浜が侵食され、一ツ葉有料道路目前まで浜崖が迫っており、人家や重要幹線道路への越波など、地域経済への影響は甚大となるおそれがある。
- 波浪による侵食防止対策として、関係機関と連携し、海岸保全施設の整備を実施。

長期的な地形変化

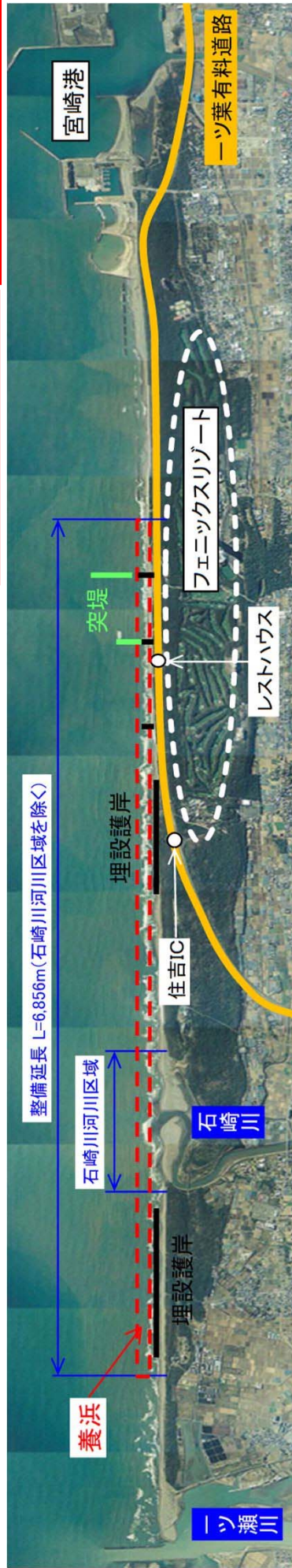


※養浜：海岸に人工的に砂を投入し、砂浜を養うこと。



令和3年度  
実施内容：養浜 等

事業費：500百万円





# 万之瀬川大規模特定河川事業【補助】

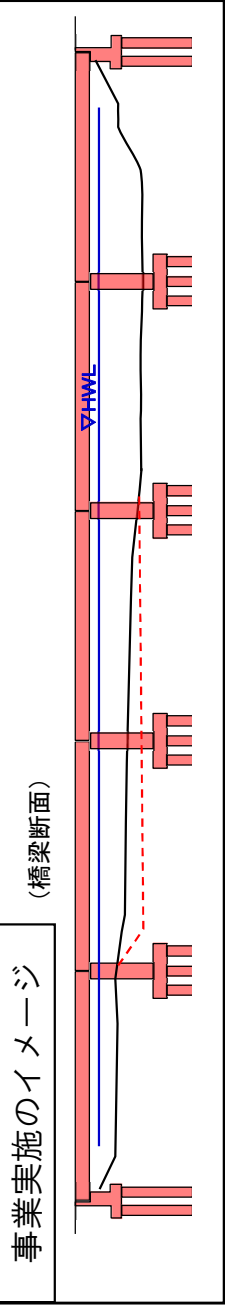
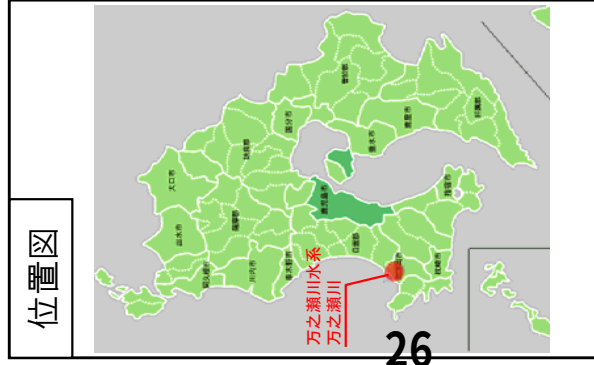
新規

河川－26

まのせがわ  
まのせがわ

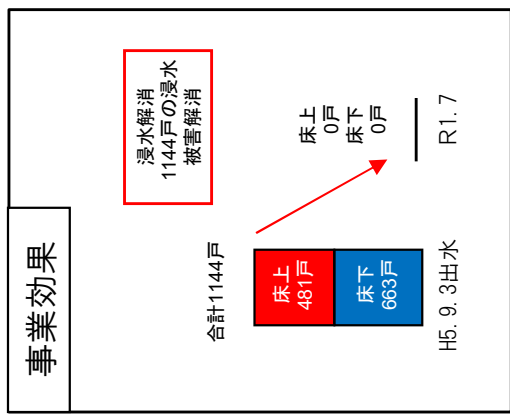
## ■万之瀬川水系万之瀬川大規模特定河川事業(南さつま市)

万之瀬川水系万之瀬川は、南さつま市内の住宅密集地を流下しており、平成5年豪雨による洪水等で甚大な被害が発生した。このため、大規模特定河川事業により河道掘削および橋梁架替等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。



被害概要

| 被災年月日     | 浸水家屋  |
|-----------|-------|
| S58.06.19 | 2,500 |
| H05.09.03 | 1,144 |
| H19.06.27 | 7     |





# 天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業【直轄】

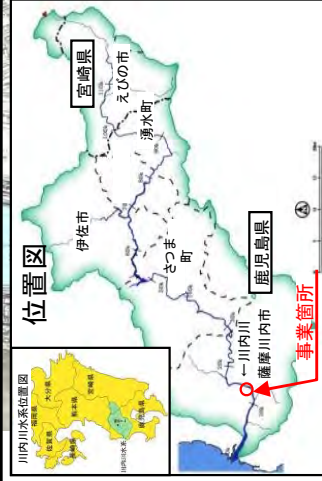
継続

河川－27

■川内川流域の下流部に位置する薩摩川内市は、昭和40年代の洪水により甚大な被害を受け、これまで薩摩川内市の土地区画整理事業と一体となった引堤等の整備を実施。

あまたつ

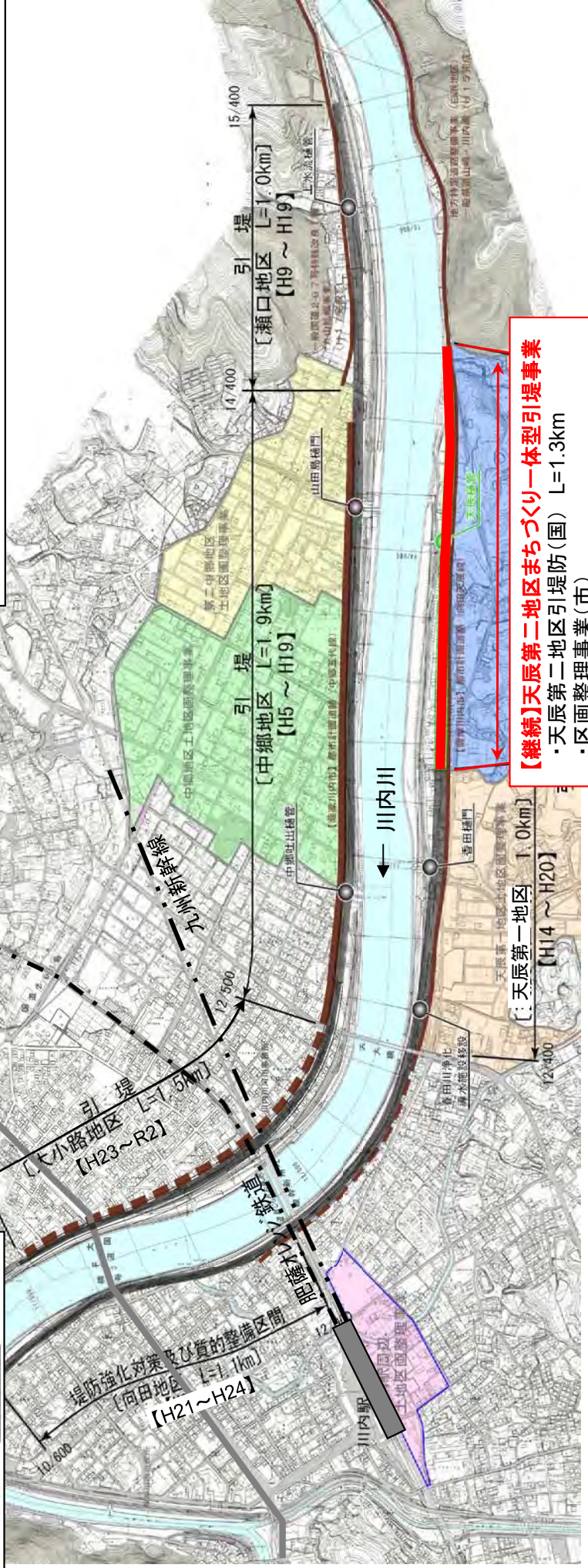
■天辰第二地区においては、令和2年度より引堤工事に着手しており、引堤を行うことで流下能力を向上させ、治水安全度向上を図る。



**事業費：1,800百万円**

※川内川水系における直轄河川改修事業の令和3年度事業費を記載しております。

横断面(イメージ)



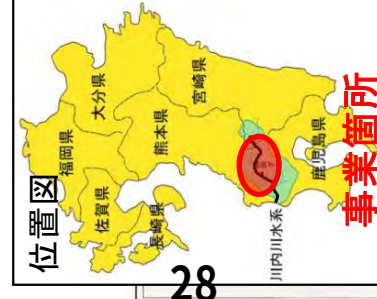
**【継続】天辰第二地区まちづくり一体型引堤事業**

- ・天辰第二地区引堤防(国) L=1.3km
- ・区画整理事業(市)
- ・都市計画道路(市)



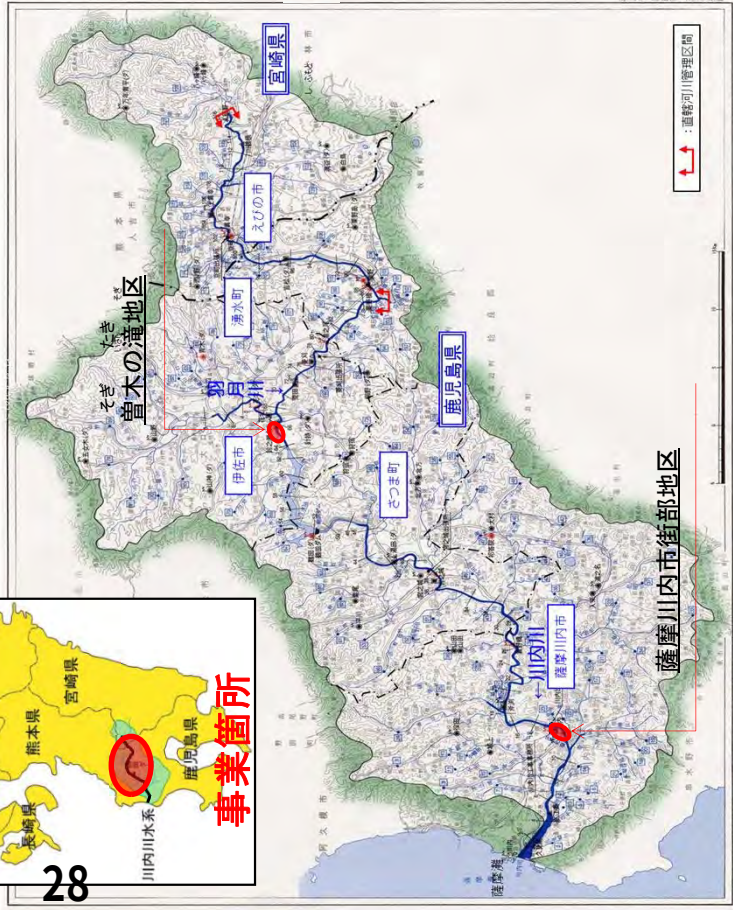
薩摩川内市街部地区、曾木の滝周辺地区 水辺整備事業【直轄】

- 川内川流域は、上流域から、えびの市のクルソン峡、湧水町の阿波溪谷、伊佐市の東洋のナイアガラと呼ばれる曾木の滝、さつま町の轟の瀬、地域毎に素晴らしい河川景観を有し鮎やホタルが生息する良好な河川環境のほか、温泉地などの魅力的な地域資源が数多く存在しました、薩摩川内市等では高水敷を活用したイベント等も行われている。
- これらの地域資源・場の特徴を活かした、地域活性化が期待され、流域の5市町が連携・協働し、九州で初となる、「水系一体でのかわまちづくり」が平成29年3月に登録されたこと等を踏まえ、国土交通省において、河川利用上の安全性等向上させるため高水敷整正等の整備を実施する。

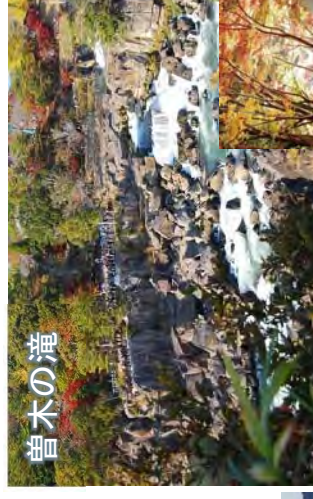


事業費：168百万円※

※事業費は水系全体を記載



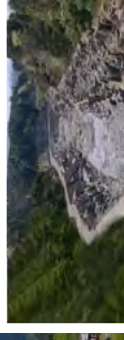
令和3年度  
実施内容：高水敷整正、  
階段護岸工  
管理用通路  
等



曾木の演



秋の紅葉ライナップ。



曾木の滝分水路  
整備イメージ



鯉のぼりフェスティバル



薩摩川内リバーフロントマルシェ



# 救急医療イメージパース



整備イメージパス

薩摩川内市街部地区

そき だき  
曾木の滝地区



# 桜島直轄砂防事業、桜島直轄砂防管理

継続

河川－29

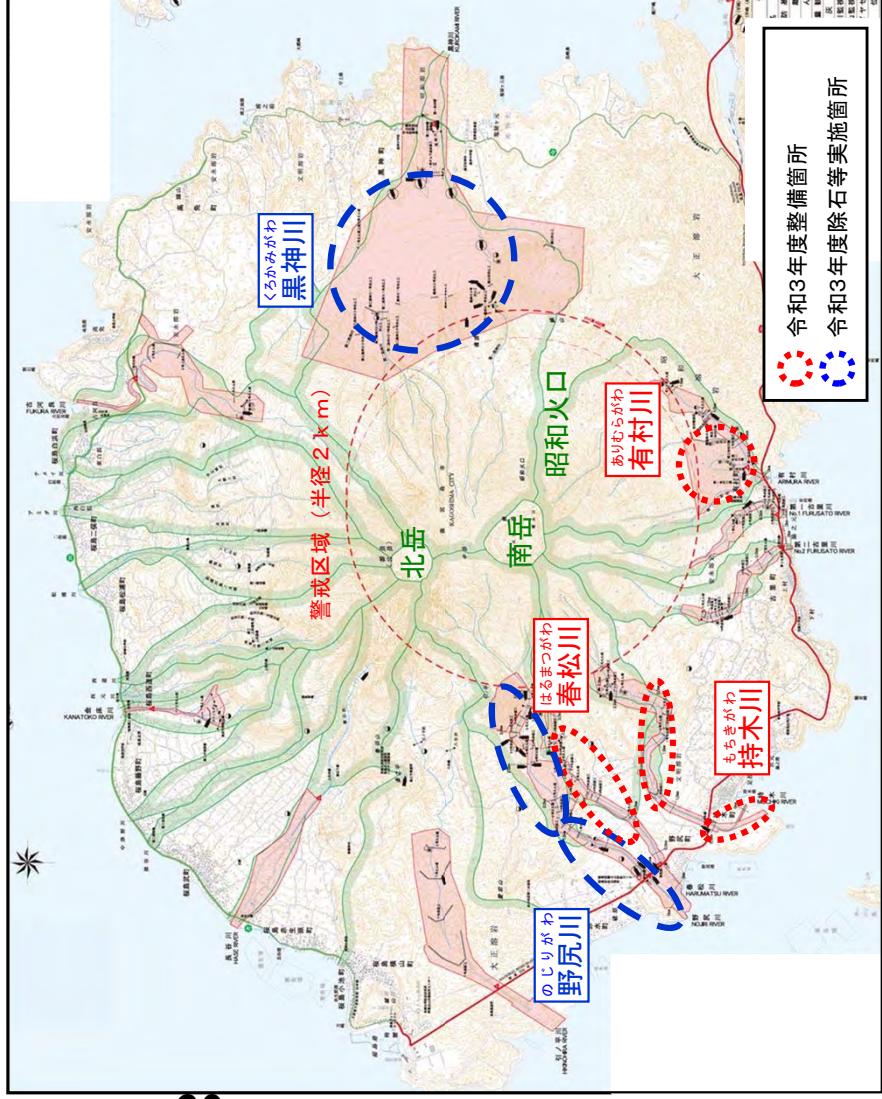
## ■桜島直轄砂防事業、桜島直轄砂防管理(鹿児島市)

- 桜島は、活発な噴火活動が継続しており、多量の降灰により降雨時に土石流が頻発。土石流による被害を防止するため持木川等において砂防施設を整備。
- 土石流が頻発している2渓流(野尻川、黒神川)については、砂防設備の適正な管理・維持のため除石等を実施。

令和3年度

実施内容: 砂防堰堤工、溪流保全工 等

事業費: 980百万円、管理費: 850百万円



春松川の砂防設備状況



野尻川の除石状況